



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 9月号
令和8年8月27日発行

外遊び

冒頭に、令和8年熊本大地震及び令和8年千葉県豪雨によりお亡くなりになられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申しあげますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申しあげます。

いよいよ2学期が始まりました。しかし、連日の猛暑により、熱中症の危険を考えると、なかなか外遊びができないのが現状です。私が子どもの頃の夏休みは、毎朝近くの神社の雑木林へカブトムシを捕りに行き、ラジオ体操に参加し、神社の階段でグリコじゃんけんをして遊び、プールに行き、セミ捕りをし、さらに近所の友達と鬼ごっこをして遊ぶなど、今振り返ると一日中外で過ごしていたような感覚があります。しかし、今はこの暑さです。長時間外で過ごすことが、命の危険にもつながりかねません。

先日、今年度第1回学校運営協議会を開催しました。毎年話題に上がるのが、「子どもたちが公園などで遊ぶ姿を見かけなくなった」ということです。特にコロナ禍以降、友達と関わりながら遊ぶ機会が減ったこともあり、天候に関係なく外遊びそのものが少なくなってきました。

その影響があるのかもしれませんが、毎年1学期に実施する体力テストの結果を見ると、三笠小学校児童の体力は、残念ながら全国及び京都府の平均と比べて低い傾向にあります。令和7年度の調査結果の分析では、持久力（一定時間内に20メートル区間を往復する回数）やソフトボール投げに、特に課題が見られました。また、「スポーツをすることに興味や関心がありますか」という質問に対して、「運動が好きではない」と答えた児童も多く見られました。運動に対する苦手意識が、体力の低下にも関係しているように感じています。

また、先日、市内の小学校の養護教諭の先生方とともに、目の健康について学ぶ機会がありました。20年前と比べると、視力が1.0未満の府内小学生の割合は増加しており、視力0.3未満の児童も約1割に達するなど、子どもの視力低下が進んでいるそうです。その要因はさまざまですが、環境要因として、屋外活動の減少や近くを見る作業の増加が挙げられています。また、屋外で遊んだり運動したりする時間が長い子どもほど近視になりやすいことも分かっています。さらに、子どもの外遊びには、近視予防、体力・運動能力の向上、骨の健やかな発育、質の高い睡眠など、多くのメリットがあります。改めて、目の健康には栄養・運動・休息のバランスが大切であることを学びました。

夏休み明けは、子どもたちも心と体が学校生活のリズムに戻るまでに少し時間がかかるかもしれません。特に心の変化については、学校・家庭・地域が連携しながら丁寧に見守り、情報を共有していきたいと考えています。また、運動会に向けた取組も始まります。熱中症対策を万全に行いながら、体力の向上や仲間との団結力を高めることなど、それぞれの目標に向かって粘り強く取り組ませていきたいと思えます。

ご家庭におかれましても、さまざまな場面でご支援・ご協力をお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。子どもたちは、心と体にたくさんの栄養を蓄え、「2学期も頑張ろう」という思いをもって登校してきたことでしょう。その思いを大切に、「すべては子どもたちのために」というPTAスローガンのもと、皆様と力を合わせながら教育活動を進めてまいります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 高峰 真実 教職員一同

【お知らせ】舞鶴市の教育 DX 推進の取組について

舞鶴市立の小・中学校におけるデジタル技術の活用は全国的に高い評価を得ています。取組の成果を、ホームページに掲載しましたので、下記リンク又は、QRコードからご覧ください！

◆舞鶴市 HP リンク：

<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/kyouiku/0000015434.html>

【掲載内容】

- ・教員業務のデジタル化水準が京都府内1位を記録！
- ・先進的な授業改革のPR動画を公開！

